

令和2年度 学力向上に向けた検証改善シート

尾道市立因北中学校

市
学
力
調
査

1年生 市学力調査(6月)

教科	国語		数学	
	基礎	活用	基礎	活用
結果 (対全国比%)	95.3	97.5	102.9	90.1

2年生 市学力調査(6月)

教科	国語		数学	
	基礎	活用	基礎	活用
結果 (対全国比%)	108.3	108.3	114.6	121.8

学
習
状
況
調
査
全
国
学
力

3年生 全国学力・学習状況調査の活用(8月)

教科	国語	数学
	得点率 ※概算	
結果 (%)	78.3	54.5

1 課題

○標準学力調査の結果から → 基礎的・基本的な学力の定着に課題
 ・1年生では、正答率60%未満の生徒が国語40%、数学31%という実態である。
 ・2年生では、正答率60%未満の生徒が数学30%という実態である。
 ・令和3年2月3日(水)に標準学力調査(3学期実施版)を行っている。(3月第2週に結果通知の予定)

○生徒アンケートから → 自己肯定感の向上、表現力の育成に課題
 ・「他者の意見を聞いて、自分の見方・考え方を広げようと考えている」生徒が91%であり、約9割の生徒が互恵的な学びを実感している。
 ・一方で、「自分の考えを積極的に発言している」生徒は68%、「自分の考えとその理由を明らかにして、相手にわかりやすく伝えるよう発表を工夫している」生徒は56%と、約3割の生徒が自分の意見を他者に伝えることに抵抗がある。

2 めざす姿

研究主題
 「学びを深める ～互恵的な授業づくりを通して 2nd Step～」

「基礎的・基本的な学力が確実に身につけている」ことが自信となって、各教科・領域等の学習意欲や自己肯定感が向上し、主体的に自分自身の将来について考え、表現する力を身につけることができる。

3 めざす姿に向けた取組の具体

2学期の取組

検証

(各教科) ・基礎的・基本的な知識を習得する学習 ・二項対立的な学習課題の設定 ★役割による話し合い活動 ★ICT(Chromebook)を活用した授業 (研究部+学年)※3学期まで継続 ・おはようサブリの実施(毎朝SHR前10分間の短作文・朝読書) (学年)※3学期まで継続 ・自主学習ノートの取組 ・セミナー学習の取組	○2学期中間試験 ○2学期期末試験 ○生徒アンケート ○教員アンケート
--	--

3学期の取組

検証

(各教科) ・検証結果から、さらに改善方法を考えリスタートする。 ・定期試験問題作成の工夫(3観点評価を見据えて) ★役割による話し合い活動 ★ICT(Chromebook)を活用した授業 (研究部+学年) ・家庭学習の工夫	○標準学力調査(1・2年) ○学年末試験 ○生徒アンケート ○教員アンケート
--	---